

# 杭基礎スラブの検討システムVer1.0リリースのご案内

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。突然のFAX送付を失礼申し上げます。

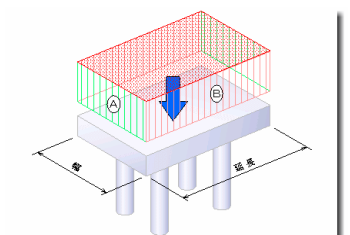
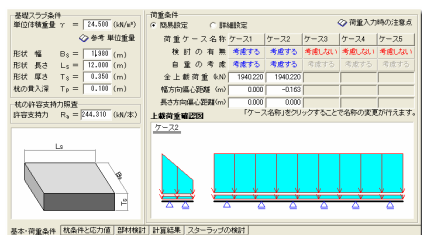
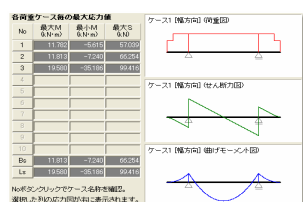
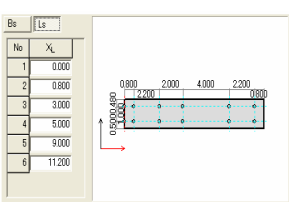
さて、この度杭基礎スラブの検討システムをリリースさせていただく事となりましたのでご案内申し上げます。本システムでは、基礎スラブ板に配置する杭条件及び配置条件の入力と、杭スラブ板上に架かる上載荷重(簡易荷重方式・詳細荷重方式)の入力より、杭スラブ板の張り出し部を「片持ち梁」、中央部は端部曲げモーメントが生じる「単純梁」か「連続梁」で応力計算を行い、無筋コンクリート及び鉄筋コンクリートの部材断面計算を行い、スターラップ(斜引張鉄筋)の検討も行います。

また、杭支点反力の集計より基礎杭の支持力照査と、杭と底版結合部の応力照査も行いますので、是非この機会にご検討の上、何卒ご用命賜ります様お願い申し上げます。

敬 具

## システム概要

- ① 入力された杭の許容支持力と、求められた荷重ケース内での最大荷重より荷重に対する杭の必要本数を求めます。
- ② 杭スラブ板上の上載荷重条件を、「簡易設定」と「詳細設定」の2種類より設定が可能です。
  - ア. 「簡易設定」:全重量と偏心位置の入力より基礎スラブ板全体に等分布荷重又は等変分布荷重のいずれかを載荷した状態での計算を行います。最大5ケースまで設定が可能です。
  - イ. 「詳細設定」:杭スラブ板の横断方向・延長方向のそれぞれに対し、【荷重での入力(KN/m)】又は【荷重強度での入力(KN/m<sup>2</sup>)】が可能です。荷重での入力(KN/m)の際は偏心位置の指定も行えます。また、200種類以上の荷重を同時に設定でき、必要な荷重を8ケースまで組み合わせることが可能です。
- ③ 基礎スラブ条件として、単位体積重量、形状(幅・長さ・厚さ)、杭の貫入深の入力を行います。
- ④ 杭の許容支持力と最大荷重より、杭の必要本数を求めます。
- ⑤ 杭条件として、杭外径、杭本数(幅方向・延長方向)、杭ピッチ(幅方向・延長方向)の入力を行います。
- ⑥ 杭ピッチは、等間隔配置と任意間隔配置が可能です。
- ⑦ 部材断面計算では、無筋コンクリート及び鉄筋コンクリートでの検討が可能です。
- ⑧ 配筋条件では「単鉄筋」「複鉄筋」の2択方式と組み立ての考慮も合わせ6択方式が可能です。
- ⑨ 必要有効高、必要鉄筋量の検討を行い、その判定結果により適正配筋が可能です。また、必要鉄筋量計算では「最小鉄筋径優先」又は「最小鉄筋量優先」の設定より自動計算を行います。
- ⑩ 応力計算にてせん断応力がOUTの場合、スターラップ(斜引張鉄筋)の検討が可能です。
- ⑪ 杭支点反力の集計より基礎杭の支持力照査を行います。
- ⑫ 杭と底版結合部の応力照査を行います。



## 株式会社システム情報企画 営業事業部 FAX: 0246-46-0256

御社名		ご担当者名	
ご住所	〒	部署名	
ご連絡先	TEL:	/FAX:	/e-mail:
定価99,750円(税込)を平成20年4月30日までリリースキャンペーン実施中《特価にてご提供》		<input type="checkbox"/> 詳細資料及びVIEWER版 CD-ROM 送付依頼 <input type="checkbox"/> 連絡欲しい <input type="checkbox"/> 見積書送付 <input type="checkbox"/> 注文依頼	

\* USBプロテクト 10,500円(税込)は価格に含まれておりません。